

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	342,579,284
負債 (b)	153,728,562
基本金 (c)	2,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	3,092
合計 (a - b - c - d)	186,847,630

- 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

項目	金額
合計 (a)	155,191,521

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	0
リース債務	0
合計 (b)	0

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	155,191,521
対応負債合計 (b)	0
対応基本金 (c)	
国庫補助金等特別積立金 (d)	3,092
合計 (a - b - c - d)	155,188,429

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					自己資金比率			合計額	
						①建設工事費 デフレーター	②1㎡当たり単価上昇率			①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率			③、④のいずれか 高い方の率
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得単価 (b)	建設時延べ床 面積 (c)			a/ (b/c)	建設時自己資金 (d)		
宮島事務所 (甘日市市宮島町9 6 0 番地 2)	1990				149,999	1.306	290,000	150,000	-	1.306	24%	-	-	24.0%	47,015
佐伯事務所 (甘日市市津田4 1 0 9 番地)	2001				524,999	1.286	290,000	525,000	-	1.286	24%	-	-	24.0%	162,035
合計															209,050

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

項目	金額
合計	22,685,557

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	209,050
大規模修繕に必要な費用	0
設備・車輛等の更新に必要な費用	22,685,557
合計	22,894,607

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c/ (a+c))	
149,999	23%	-	-	1	0	0
524,999	23%	-	-	1	0	0
						0

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	303,548,476	12	3,642,581,712
		3	75,887,119

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	303,548,476	12	3,642,581,712
		12	3,642,581,712
			303,548,476

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	186,847,630		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	155,188,429		
再取得に必要な財産	0	458,736,905	※「5. 計算の特例」の適用有無を 変更する場合、以 下のセルから選択す ること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	303,548,476		
合計	-271,880,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-271,880,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-271,880,000